

始める前のお願い

このパワーポイントに使われる子どもの写真は

東京家政大学ナースリールームと一般家庭、小西貴士氏（写真家）

許可を得て使用しています。

写真の撮影や保存はご遠慮ください。

2023年12月 8 日神奈川県私立幼稚園連合会

「子ども・保護者・保育者が共に育つ保育」

-doing保育からbeing保育への転換をめざして-

井桁 容子

乳幼児教育実践研究家

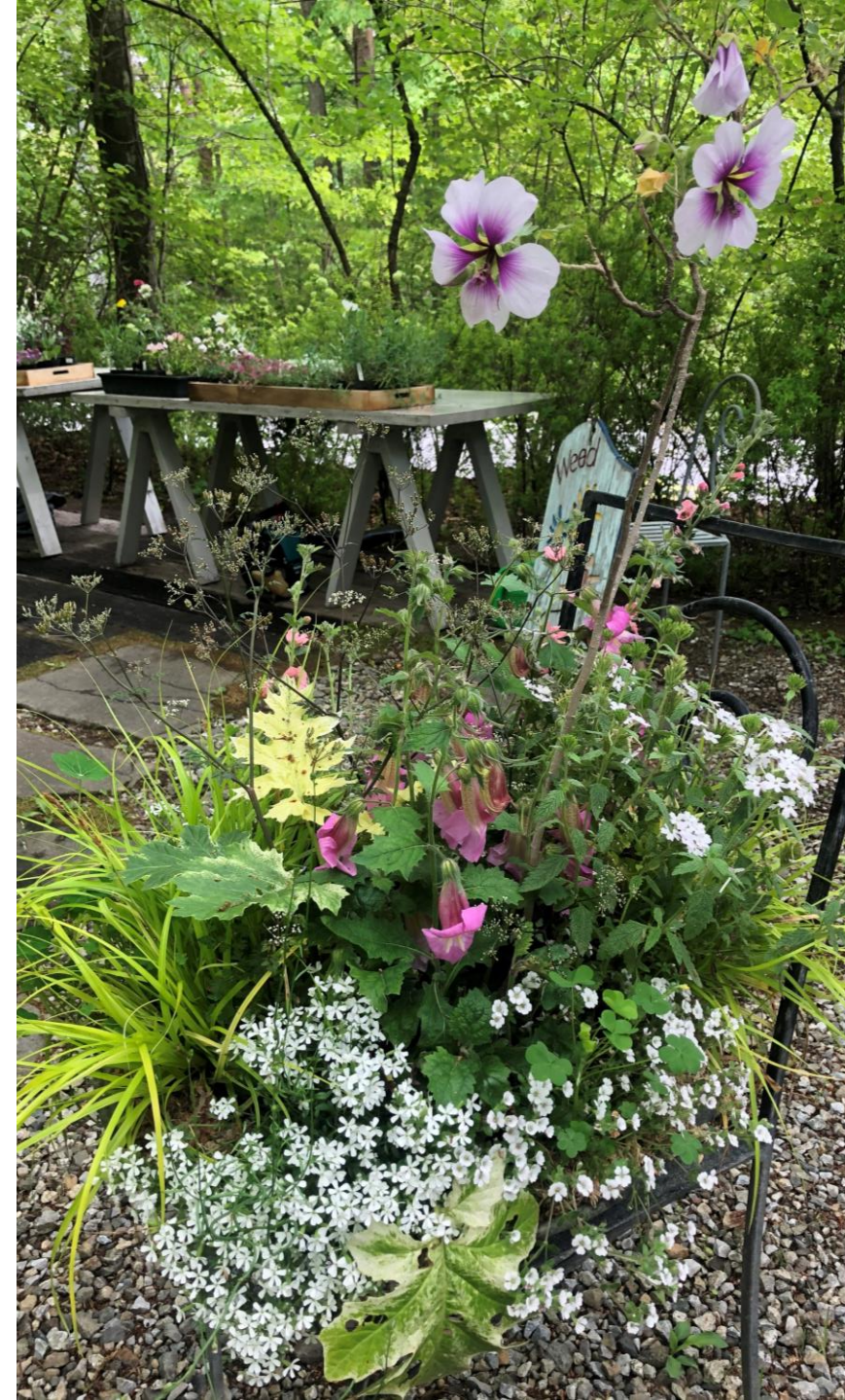
非営利団体コドモノミカタ代表理事

「這えば立て、立てば歩めの親心」

「親の心 子知らず」

「子を持って知る 親の恩」

「子を持って知る 子への恩」



乳幼児保育・子育て支援の重要性

親になって初めての出会い

(出産、父母としての役割、子育て、保育施設、支援センター)



親、家族の土台が築かれるとき

・子ども観、子育て観、夫婦観

コロナ禍の子ども・家庭状況

山野則子（大阪公立大学）研究代表

2020年「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究」報告によると

- ・ 年収が低いほど困ったことを相談するところが少ない傾向。
- ・ 保護者の相談先があると「子どもの気持ちになって向き合ってくれる」約6～10倍高い
- ・ 世帯収入別に見た、経済的理由で経験したこと（年収200万円～400万円が厳しい状況）
- ・ **親子で困りごとにギャップがある（中学生…居場所がない、親・・・生活リズム、学業、食）**
- ・ ゲーム依存・相談の増加
- ・ 性的な問題の増加
- ・ 精神的・身体的・その他の負担が増えたのは4人に1人
- ・ 学校に行きづらいと感じた子ども3分の1

30%の層の9割がストレス



保育の立場から、保護者の安定を支えることができる可能性

- ・ つなぐ仕組み、声を上げられる環境
- ・ 重い話、相談ではなく、気軽な話相手

『おもいどおりになんて育てない』

The Gardener and the Carpenter

What the New Science of child Development Tells Us About the Relationship
Between Parents and Children

反ペアレンティングの科学

アリソン・ゴプニック 著 渡会圭子 訳 森口佑介 解説 より

「ペアレンティングは、ごく最近の悪しき発明」

- ◆ ヒトは、みんなで子どもを育ててきた
- ◆ AIよりも人間の子どもの方がすごい

対談からの気づき

- ・ 福岡伸一（生物学者） × 井桁
- ・ 養老孟司氏 × 井桁
- ・ ある子ども番組のプロデューサー × 井桁



「未来をひらく
家庭支援・保護者との関わり」
ワークブック
井桁容子 著
2021年（メイト）より

保護者とのかかわりの 基本的な考え方

- ・ 子どもの育ちや気づきをていねいに伝える
- ・ 日々のやり取りを誠実に行う
- ・ 相手を理解しようとする姿勢で向き合う
- ・ 保護者の背景を知っておく
- ・ 正論を押し付けない

〇〇を見れば、□□が分かる

つながりの中で育ち合うということ

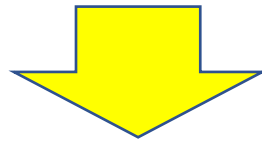
- ・『人間が生きるってこういうことかしら？』
中村桂子（生命科学者） × 内藤いづみ（医師）

「生きものは38億年前に生まれた先祖細胞から始まり、
現在の生きものはすべてそこから生まれたもの」

- ・心のつながり

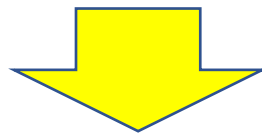
「子ども理解」は

子ども一人一人のよさや可能性などを把握して
最善の利益を考慮し、保育の改善に生かすために大切



温かく、共感的、応答的な保育

理解 = 愛



保護者からの信頼

「育児」と「保育」の違い

◆ 「保育」は、養護と教育を一体的に行う専門性が求められる行為

保育所保育指針総則第1章 1 保育所保育に関する基本原則

(2) 保育の目標

ア (中略) 子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、次の目標を目指して行わなければならない。

(ア) 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。

(イ) 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと

(略)

◆ 「育児」は、一般のひとの子育て行為

「専門家とそうでない人との違いは、
何を知っているかでなく
何がわかってないかをいえること」

『人間が生きるってこういうことかしら』ポプラ社より

科学的根拠のある乳幼児理解の重要さ

- ・ ヒトの生物としての特性と子育ての歴史の理解

ヒトの脳の成熟には25年かかる
「共同養育」により、進化、生存してきた

➡ 正しい保護者理解が必要

- ・ 脳の発達第1感受性期

過形成から刈り込み（生後8ヵ月ごろ）
生きる環境に適した脳は7～8歳で完成

➡ 乳児期からの環境の重要性

- ・ 身体接触や共感されないと生存できない

内受容感覚（身体内部の感覚＝内臓感覚）

外受容感覚（身体外部の知覚＝五感覚）

自己受容感覚（身体＝環境の行為で生じる感覚 筋、関節、平衡感覚）

➡ アタッチメントの重要性

保育者の正しい子ども理解による安全な保育環境



保護者からの信頼

アフォーダンス理論の応用

J・Jギブソン（心理学者・アメリカ）

子ども主体の保育によって
育まれているはず

<能力の三つの柱>

何を知っているか、何ができるか

⇒ 認知的能力、個別の知識や技能

知っていること・できることをどう使うか

⇒ 思考力・判断力・表現力など

どのように社会・世界とかわかり、より良い人生を送るか

⇒ 主体性・多様性・協調性・学びに向かう力・人間性

<幼児期の終わりまでに育ってほしい姿>

健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、
社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い
豊かな感性と表現

<架け橋プログラムの検討>

幼児教育（保育所・幼稚園・認定こども園）と小学校教育とのカリキュラムをつなぐ

子どもが幸せに生きることにつながらなければ意味はない

文部科学省が推進している

STEAM教育とは

S (Science) 科学

T (Technology) 技術

E (Engineering) 工学・ものづくり

A (Arts) 芸術・文化・生活・経済など

M (Mathematics) 数学

学問の領域の枠を横断して、考える力や今までにない
新しい着眼点を育てる

社会課題に向き合える人材育成

イノベーション

落合陽一氏（筑波大学 准教授）YouTubeでの発言より

- ・ コンピューターサイエンス（計算機を作るエリア）から、デジタルネイチャーへ
- ・ 2022年が過渡期 → 2025年にシンギラリティー起こる?!

何をしたらよいか分からない人が増える。ホワイトカラーが負の遺産

- ・ 毎分で進化する世界に人間の考えはついていけない。
カブトムシは、10万年進化していないが・・・
論文が90秒で
- ・ 「幼稚園・小学校には絶対行かせたくない」
同じ年だけ固める世界に違和感
→異世代との交流が大事なのに同世代でつるむ癖を作られてしまう。
- ・ 就活・新人研修は危険
「イワシの群れの仲間に入れば安全」という感覚を植え付けられる
ゆばーばが名前を取るのと同じ
- ・ ドロップアウトした人の方が世の中が見える

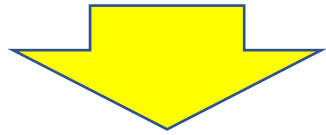
心の育ち人間らしさが重視される時代

生きる意欲

関わる意欲 ← **心の安心・安全**

学ぶ意欲

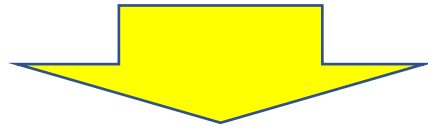
「イヤイヤ期」



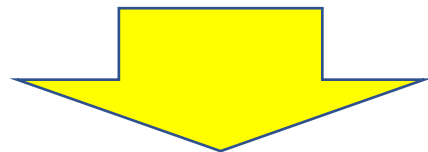
「イヤ」と言わなかったら
どうなる？

「イヤ」といえるようになった
(自我の芽生え)

分かってもらえる



どんな自分でも愛されると感じる
(基本的信頼感)



コミュニケーション力が育つ

発達とは子ども時代だけではない



成人発達



組織の発達



社会の発達



不協和を感じた時が
発達のチャンス！

「インテグラル理論」

ケン・ウィルバー（アメリカ・思想家）

加藤洋平

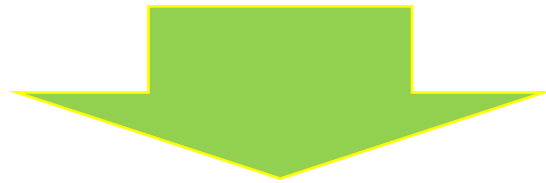
監訳

門林奨 訳

JMAN

発達は大人数になってもある

未熟さや失敗を否定したり無くすことではない



未熟さや失敗を経験しながら
「越えて含む」ことで心が育つ

※『インテグラル理論』ケン・ウィルバー著 加藤洋平 監訳・門林奨 訳 参考

余裕のない人に声はかけられない

余裕のない人には、いいパスはこない

同じ玩具でも、
その扱いに一人一人のこだわりが見える



主体的な遊びと学び

子どもの頃は

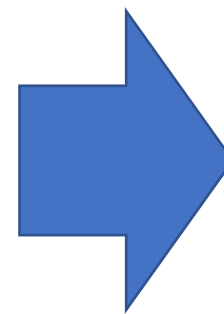
and

大人になると

or

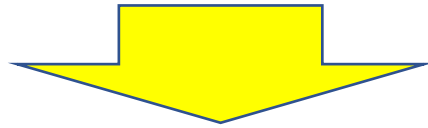
分かれようとするまなざしが重要

D ど う
N な ん
D だ ろ う

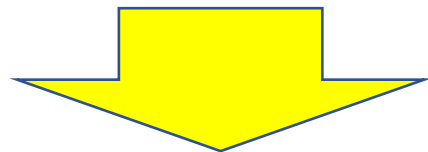


人とのつながり、
興味の範囲、思考が
広がる

分かってもらえる



どんな自分でも愛されると感じる
(基本的信頼感)



コミュニケーション力が育つ

doing保育

比べる

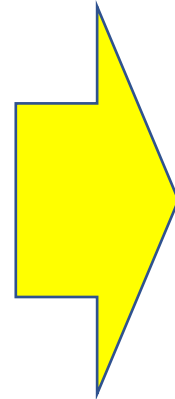
同一性の重視

結果、成果

教える

分からせる

できるようにする



being保育

比べない

個性の尊重

意欲、満足感

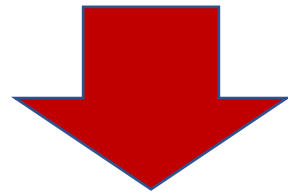
感じて考えて

分かる

その子らしさの尊重

well-being

幸福で肉体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた状態
(世界保健機構：WHO)



自分自身の**well-being**を大切にすること
から、みんなの幸せへ！！

のびのび すくすく いきいき キラキラ 保育・子育て

- ・ 比べない
- ・ 叱る前にDND（どうなんだろう）と訳を知ろうとする
- ・ 子どもが面白い、不思議と思って夢中になっているときは邪魔しない
- ・ 我慢を教えることよりも見る力を育てる
- ・ ダメなところを指摘するよりも、よいところを応援する
- ・ 「うれしい」、「楽しい」に共感する

ごきげんな大人が子どもを幸せにする